



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ

本堂修復完了！心新たにお待ち受け準備！

22日早朝、白山市小竹生花園の華方・小竹稔氏によって華立てがされました。御忌期間中の仏華は花木を使わず、最も格式が高いとされる「松一式」を全尊にお荘厳します。

伝統の松一式



お勤めの様子

仏具のおみがき

ご縁の深いお同行14名が参加。お勤め後、約2時間を掛け、一つひとつの仏具が丁寧に磨かれました。本堂と同様に輝きを取り戻した仏具をお荘厳し、蓮如上人をお迎えします。

21日、仏具のおみがきが行われました。この仏事には、当別院と



お内陣の荘厳



五辻輪番による講義

本山宗務所・新入職員の吉崎別院実習

22日午後、新入職員による「御忌法要お待ち受け奉仕作業」が行われました。今年で3回目を数える「吉崎別院実習」には、宗務役員新入職員16名の他、大阪・難波別院、研修部補導、本廟部参衆ら総勢25名が参加し、奉仕作業に汗

を流しました。内陣のお荘厳は、指導役として福井別院列座の朝倉光寿氏が担当し、職員の指導を務めました。また、夕刻からは五辻信行輪番の講義もあり、参加者は緊張した面持ちで話しに耳を傾けている様子でした。この研修は24日までの日程で予定されています。

テント張り作業

